

2017年度

デイサービスあいせん

事業概況報告

2018年 3月 31日現在

・施設概要

施設の種別	認知症対応型通所介護
事業開始年月日	2001年 4月 1日
利用定員	12名 / 1日
所在地	埼玉県加須市水深 869-17
電話	0480-67-2360

品質目標

明るく暖かく清潔で、安全な施設づくりを進め、利用者満足度の向上を目指して対人サービスの継続的改善を行います

1 定例活動

A) 毎日の定例行事

項目	内 容	時 間
朝の礼拝	主の祈り・5原則唱和	8:15~8:20
朝の申し送り	当日の予定・欠席者・利用者の確認	8:20~8:25
全体ミーティング	ハイム内の予定・連絡確認	9:00~9:05
昼の申し送り	午前の送迎・入浴・昼食の様子確認・連絡	12:20~12:30
夕の反省会	当日の様子確認・報告・記録	17:15~17:30

B 毎月の定例行事

項目	内 容	時 間
体重測定	月初めに測定し、連絡帳に記入する。	第一週目
出張理容ボラ	美容室たかせ・加須福祉理美容(有料)	第三週・予約日
朗読ボランティア	毎月1回 絵本や紙芝居の読み聞かせ	14:00~14:30
ジョイフルタイム	毎月2回水曜日	13:30~14:30

C 定例会議

項目	内 容	時 間
運営委員会	毎月第一金曜日各部門長が出席	10:30~12:00
ハイム職員会議	毎月第二火曜日	9:45~11:00
在宅部門会議	奇数月に実施	17:30~18:30
ISO会議	毎月第三木曜日	10:30~12:00
食事委員会	毎月第二火曜日	15:00~15:30

D 職員研修

研修名	開催日	主催	参加数
新任研修	4月1日	ハイム	2人
防災研修	5月9日	防災委員	1人
オムツ研修	5月18日	研修委員	4人
虐待防止研修	6月13日	地域福祉	7人
ISO移行研修	6月15日	ISO事務局	2人
事故予防	9月12日	研修委員	3人
お年寄りの対応	9月19日	在宅部門	8人
感染症研修	10月10日	研修委員	3人
クリスマス礼拝	12月24日	宗教委員会	4人
接遇研修	1月16日	研修委員	2人
受難節礼拝	2月11日	宗教委員会	8人
QC部内発表	2月6日	品質向上	4人
新任振り返り	3月13日	研修委員	1人

研修名	開催日	参加者
普通救命講習	6月11日	3人
接遇推進者研修	6月21日	1人
認知症介護実践者研修	6月26日	1人
老施協研修	9月26日	1人
感染症対策研修	10月13日	2人
普通救命講習	10月22日	2人
レクリエーション研修	10月27日	1人
デイサービス部門研修	11月14日	1人
普通救命講習	11月19日	2人
介護事業経営者セミナー	3月28日	1人

2 職員配置

A 職員配置状況1(2018年3月31日現在)

	管理者	生活相談員	介護職員	看護職員	栄養士	調理員	運転手
基準数(一日)	1	1	2	1	1	1	1
現員(非常勤)	1・兼務	1	1(4)	0(2)	1・兼務	0(1・兼務)	0(1・兼務)
差引(△不足)	0	0	3	1	0	0	0

3・月別利用実績

月	要介護度	支援1		支援2		介護1		介護2		介護3		介護4		介護5		合計	一日平均
	性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性		
4月	利用者数	0	0	0	0	3	4	5	4	0	8	0	5	1	1	31	10.8人
		0		0		7		9		8		5		2			
	利用日数	0	0	0	0	27	31	50	27	0	74	0	43	4	16	272	稼働率 91%
		0		0		58		77		74		43		20			
5月	利用者数	0	0	0	0	3	3	4	4	1	9	0	5	1	1	31	10.8人
		0		0		6		8		10		5		2			
	利用日数	0	0	0	0	30	21	45	39	0	96	0	47	5	18	293	稼働率 90%
		0		0		51		76		96		47		23			
6月	利用者数	0	0	0	0	2	2	6	4	0	10	0	4	1	1	30	10.7人
		0		0		4		10		10		4		2			
	利用日数	0	0	0	0	25	16	37	39	0	96	0	42	4	18	277	稼働率 89%
		0		0		41		76		96		42		22			
7月	利用者数	0	0	0	0	1	2	7	5	0	8	0	4	1	1	29	10.5人
		0		0		3		12		8		4		2			
	利用日数	0	0	0	0	4	18	72	41	0	78	0	41	4	16	274	稼働率 88%
		0		0		22		113		78		41		20			
8月	利用者数	0	0	0	0	1	2	7	5	0	5	0	4	1	2	27	10.5人
		0		0		3		12		5		4		3			
	利用者日数	0	0	0	0	2	18	83	37	0	50	0	42	4	38	274	稼働率 88%
		0		0		20		120		50		42		42			
9月	利用者数	0	0	0	0	1	2	6	4	0	6	0	4	1	2	26	9.2人
		0		0		3		10		6		4		3			
	利用日数	0	0	0	0	1	16	62	25	0	57	0	42	4	33	240	稼働率 77%
		0		0		17		87		57		42		37			
10月	利用者数	0	0	0	0	1	2	6	3	0	7	1	4	1	2	27	9.3人
		0		0		3		9		7		5		3			
	利用日数	0	0	0	0	4	18	57	22	0	58	2	41	5	34	241	稼働率 77%
		0		0		22		79		58		43		39			
11月	利用者数	0	0	0	0	1	1	5	4	1	6	1	6	1	2	28	9.9人
		0		0		2		9		7		7		3			
	利用日数	0	0	0	0	1	9	49	33	13	59	3	50	4	36	257	稼働率 82.3%
		0		0		10		82		72		53		40			
12月	利用者数	0	0	0	0	1	2	6	4	1	7	1	7	1	2	32	10.6人
		0		0		3		10		8		8		3			
	利用日数	0	0	0	0	2	12	59	32	4	69	2	58	4	33	275	稼働率 88.1%
		0		0		14		91		73		60		37			

1月	要介護度	支援1		支援2		介護1		介護2		介護3		介護4		介護5		合計	一日平均
	性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性		
	利用者数	0	0	0	0	1	2	6	4	0	7	1	7	0	2	30	9.9人
		0		0		3		10		7		8		2			
	利用日数	0	0	0	0	3	8	52	29	0	64	2	50	0	29	237	稼働率
		0		0		11		81		64		52		29			82.3%
2月	要介護度	支援1		支援2		介護1		介護2		介護3		介護4		介護5		合計	一日平均
	性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性		
	利用者数	0	0	0	0	1	2	6	3	1	6	1	6	0	2	29	10.8人
		0		0		3		9		7		7		2			
	利用日数	0	0	0	0	2	12	63	23	4	73	2	53	0	28	260	稼働率
		0		0		14		86		77		55		28			90%
3月	要介護度	支援1		支援2		介護1		介護2		介護3		介護4		介護5		合計	一日平均
	性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性		
	利用者数	0	0	0	0	1	2	6	3	1	6	1	6	0	2	28	9.8人
		0		0		3		9		7		7		0			
	利用日数	0	0	0	0	2	12	78	18	3	71	3	50	0	30	267	稼働率
		0		0		14		96		74		53		30			82%
															年間稼働率	85.4%	
															年間一日平均	10.2人	

4・事故に関する事項

A 事故報告

種類	転倒	転落	誤嚥	感染症	物損事故	人身事故	忘れ物	その他	計	年間合計 14件
入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
通院処置	1	0	0	0	0	0	0	1	2	
処置なし	3	0	0	0	0	0	1	7	11	
修理	0	0	0	0	1	0	0	0	1	
労災	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	4	0	0	0	1	0	1	8	14	

【分析】

お風呂から上がった後に意識を失い、救急搬送された事故と汚物漕の淵に乗り、落ちて通院した事故が大きなものだったが、特変の怪我もなく済んだ。職員のミスによる持ち物の入れ間違いやカロリー制限のある方に砂糖入りの紅茶を出した事故に対しては持ち物一覧表やカップを違う種類のものにするなど対策を講じ、再発防止を図っている。毎日のヒヤハットの中からADLの低下や認知症の進行で事故になりやすい利用者に対して、早めの対策を立てるようにしていきたい。

B ヒヤリハット

種類	件数	%	主な内容
ふらつき	39	28%	ADLの低下により浴室内やトイレ内、廊下を歩行中にふらつく。同じ人が何回もふらついた。
つまずき	5	4%	ダスキンマットに躓く。ADLの低下により自宅玄関先で躓く。他の人の足や椅子の足に躓く。
誤飲誤食	10	7%	テーブルに置いてしまったパズルや色紙、ティッシュなどを口にくわえる、入れようとした
利用者トラブル	15	11%	自分の物の区別がつかず、盗った、盗られたと騒いだり、耳が遠い為注意されたと勘違いして押し返したり、大声で喧嘩をしそうになった
要介助者独歩	6	4%	職員が気付かないうちに2階へ行っていたり、手引き歩行なのに一人で数歩歩きだしていた。
送迎	17	12.2%	走行中にシートベルトを外す。帰宅するため乗車したのに自分で降りてきた。他者の家なのに降りようとした。
その他	47	33.8%	火災報知機を叩く、鳴らす。壁やドアを叩く。自宅からライターを持ってきた。外に出ようとしたので引き留めた職員を殴ろうとした。他の人の外履きを履いていた。レクで使う名札を自分の鞆に入れていた。
合計	139		

【分析】男性利用者が多くなり、今ままでなかったヒヤリが増えたと感じている。

ADLの低下によるヒヤリには事故に繋がらないように早めに対策を講じるようにし、職員のミスによる荷物の入れ間違いや持ち帰り忘れをしないようにダブルチェックをしっかりとしていきたい。

C 苦情要望

発生月	件数	0件	内 容
			記載事項なし

品質目標達成状況

A・稼働率80%異常を目指す

月	達成度	成果の分析・反省・今後の進め方
4月	91.00%	この一年間で、80%以下だったのは9月と10月のみで、上半期は87%、下半期は84%年間平均は85.5%という結果を出せた。その中で4月、5月、2月は90%以上と言う数字が出た。利用者の紹介がコンスタントにあったことと、利用回数を増やしたいと言う申し出が続いたことが大きな要因だと思う。 真面目に誠意を持ってサービスを提供してきたことが 評価、信頼されたのではないかと自負しているが、この状態が長く続くとは考えられないので、今の内から利用可能な曜日をこまめにケアマネに伝えていくようにしたいと思っている。 又、利用者の入院を防ぐためにも、体調の変化に早く気が付けるように日頃の状態を把握して置くようにスタッフ全員の報連相を良くしていきたいと思っている。
5月	90.00%	
6月	89.00%	
7月	88.00%	
8月	88.00%	
9月	77.00%	
10月	77.00%	
11月	82.30%	
12月	88.10%	
1月	82.30%	
2月	90.00%	
3月	82.00%	

B・個別レクの充実を図る

週3回以上実施

月	達成度	成果の分析・反省・今後の進め方
4月	週1.5回	新年度がスタートしたのに、この目標を達成するための準備が手間取ってしまったたり、職員の長期休暇により人手が不足して対応が出来なかった。もう少し早めに目標を決め直ぐに目標達成のために取り掛かれるようにしたいと思った。
5月	週3.7回	
6月	週 0回	

月	達成度	成果の分析・反省・今後の進め方
7月	週 0回	8月からは人員の補充が出来、個別レクに取り組み事が出来た。何回か個別レクをやっているのに記入を忘れてしたが、お客様に楽しいと思ってもらえることは職員にとっても嬉しい事なのでもっと何か出来ないかと考えていきたいと思う。
8月	週 3.7回	
9月	週 4.5回	

月	達成度	成果の分析・反省・今後の進め方
10月	週 3.5回	昼休みの廊下散歩やおやつ後のドリルやパズルをやろうとスタッフは心がけているが、帰宅願望の強い利用者やマンツーマンで話をしていないと機嫌が悪くなる利用者があると対応に追われて出来ない日があるので、その日をどうするかが課題である。
11月	週 4.0回	
12月	週 4.5回	

月	達成度	成果の分析・反省・今後の進め方
1月	週 5.0回	利用者との会話から昔やっていたスポーツを聞き出し、声掛けしたら楽しそうにキャッチボールをやってくれた。転倒を恐れる気持ちがあるので、ヒヤリとするが、今までに見た事のない笑顔が見られて嬉しく思うので、安全に配慮しつつ継続したいと思う。
2月	週 4.0回	
3月	週 5.0回	